



2022-23 年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

# Weekly Report Niigata



2022~23 年度  
新潟ロータリークラブ会長

石川 治老

新潟 RC 11月第2例会 (2022.11.8) (Zoom 例会併催) No.3435

**(1) ロータリー—ソング「四つのテスト」ピアノ演奏**

**(2) 石川 治老会長挨拶**

皆様新聞等でご存じだと思われませんが、わが新潟ロータリークラブの宇尾野隆さんが 藍綬褒章 を受賞されました大変おめでとうございます。

褒章の対象となる方は、会社経営、各種団体での活動等を通じて、産業の振興、社会福祉の増進等に優れた業績を挙げた方とことです本当におめでとうございます。

今週 12 日そして 13 日高橋ガバナーの地区大会が行われます。本日の例会はその準備に当てたいと思います。

ここまでのご準備また 12 日 13 日と皆様にお手伝い頂き本当にありがとうございます。当日の担当一覧と大会確認共通事項メモを本日配布致しました、その説明をこれから行いたいと思います。大まかに受付チーム、会場運営進行チーム、来賓対応チーム、危機管理チーム、エクスカッションチームこの例会終了後打ち合わせの時間を取りたいと思いますのでよろしく願い致します。

ここからは参加する方全員へのお願いになります。

会場での私たちの服装について、ですが来賓として着座するガバナーを除いて実行委員会を含め、全員新潟 RC のタスキをつけていただきます。

高橋ガバナー年度の地区バッジをぜひつけてご参加いただければ、と思います。

当日いくつかのバッジを本部にて準備しておきますので無い方はそこで借りてください。

例会時につけている名札を着用して下さい。

大会本部にて皆さんのバッジを置いておきます。二日目も参加される方も含め名札を受付の回収箱に必ず入れておかせください。

そしてお手元の資料のように、受付、会場運営進行チームを除き、12 日参加者は 12 時、13 日参加者は 8 時までにお越しいただければと思います。

そして 12 日、受付開始時刻 12 時 30 分から 13 日は 8 時 30 分会

場直前まで、会場二か所に分かれ、お出迎えのお手伝いをしていただければと思っております。

また 12 日歓迎晩餐会終了後同じようにお見送りをお願いいたします。

13 日も受付時間の 8 時 30 分から開始前の 9 時 30 分ごろまで受け付け奥にてお出迎えそして親睦交流会が終わりましたらお見送りをお願い致します。

12 日大会本部は 5F ジェノバ

12 日セミナー終了後歓迎会までの間の参加者控室は 2F ローザ、シーエン、1F マルコポーロ

12 日来賓控室は、2F イタリアクラブ

12 日救護室はフィレンツェ

13 日大会本部 3F 阿賀

13 日救護室 4F 妙高

13 日一般参加者の昼食は 2F 芙蓉で行います

実行委員会と会場運営進行チームの 昼食は 3F 阿賀です。

当日の役割のお願いをさせていただきました、当日よろしく願いいたします。

**(3) 米山奨学生へ奨学金贈呈**

**(4) 各種ご寄付の発表**

**ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)**

高橋 秀松君 本多 晃君

徳永 昭輝君 佐藤 隆夫君

得永 哲史君 田村 貫次郎君

**米山奨学会寄付発表(渡辺 浩幸委員長)**

高橋 秀樹君 白勢 仁士君

**青少年育成基金寄付発表(小林 建委員長)**

高橋 秀樹君 石川 治老君

本間 利夫君

## (5) ニコニコボックス紹介 (関川 博信委員長)

・高橋 秀樹君 地区大会いよいよ今週末に迫ってまいりました。皆様のこれまでのご尽力に感謝申し上げますと共に当日のご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

高橋 秀松君 お花有難うございました。「今年はひよっとすると、結婚40周年でないか」と妻と娘に話したところ無反応。女は冷たい。ニコニコしました。

## (6) 幹事報告 (高野 潤幹事)

村上ロータリークラブより 探検家 関野吉晴さんの公開講演会のご案内を頂きました。11月23日 村上市民ふれあいセンターにて 午後1時半に 開演致します。詳細は事務局よりメール配信致します。

## (7) 「地区大会打合せ」

## (8) 11月8日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
90	89	71	79.78

Zoom 参加 11名

15日は地区大会の振り替え休会となります。

次回例会は22日に開催致します。  
長岡丘陵公園 ガーデナー 石原久美子さんの卓話を予定しております。

新潟ロータリークラブホームページアドレス  
<http://www.niigatarc.jp/>

高橋年度防減災セミナー



## 高橋年度ロータリー防減災セミナーについて(報告)

大澤 強

さる9月17日(土)長岡市立中央図書館を会場として「高橋年度防減災セミナー」が2560地区年間計画に基づき開催されました。

このセミナーは高橋秀樹ガバナー、ロータリー地域協働ネットワークセンター清水センター長(高田東RC)による案内で昨年に続き開催されたものです。地区関係委員長はじめ、県内各クラブから多数参加。また協力団体として、新潟県隊友会、にいがた被害者支援センター、新潟いのちの電話、ボーイスカウト日本連盟の参加がありました。8月4日に県北水害があったこともあり、セミナー参加者は昨年度より増加しているとのこと。

第1部「備えを常に。その時ロータリーは」2004年の東越地震の際のロータリークラブの取組みについて報告があり、災害支援体制もモデルについての考察がありました。

体制の概要は、災害がおきたら被災地のロータリークラブはそれぞれの分区へ報告し分区と地域協働ネットワークセンターが連携をして情報収集しながら対応をコーディネートするものとなります。この夏の県北水害に於いても村上・胎内RCが第1分区長と連携して不足品である石灰・雑巾などを手配しボランティア団体に使用できるよう調達したことが紹介されました。

つづいて「県北水害から学ぶこと支援活動報告」として、県北水害で関係クラブとの調整支援に尽力いただいた第1分区須貝八栄ガバナー補佐より経過報告があり、加えて中越防災安全推進機構地域防災力センター野村卓也氏による県北水害の現地での具体的な被害状況と、復旧支援するボランティア活動の報告がありました。

第2部では、協力団体、発表者、高橋ガバナーにも参加いただいたのパネルディスカッション。

時間が限られた中での進行となりましたが、参加者が災害の際は、被災クラブと地区が連携よく繋がる重要性、また協力団体との協力体制を継続していく必要を感じたディスカッションとなりました。

①災害発生時は、分区(ガバナー補佐)への報告・情報提供・支援要請を行うこと。

②直接ボランティア活動はできなくてもロータリークラブとしてできることがある。

セミナーに参加して改めて認識したポイントです。クラブの皆さまも災害時には、本来の職業を通じ様々な復旧に努められることが第一と思いますが、ロータリアンとしてできる可能な災害支援について一考いただければ幸いです。